

## 8 道路整備について

### （1）主な道路の利用目的

◇「通勤・通学」と「家事・買物」が4割を超える

平成30年6月に、東京外かく環状道路（外環道）の松戸・市川間が開通するなど、県内の道路環境は近年大きく変化しています。

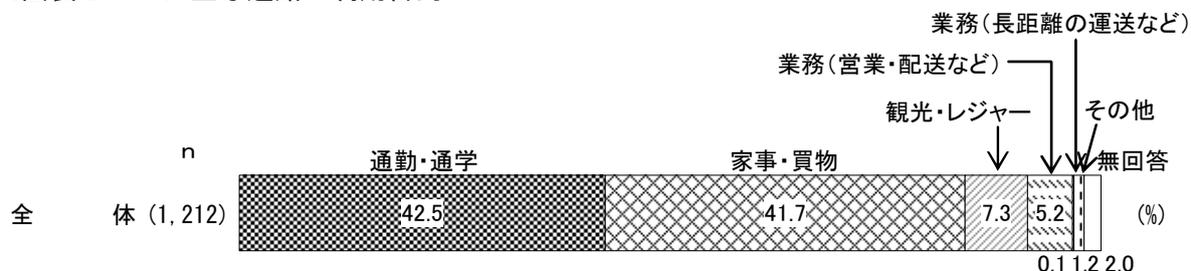
今後の道路整備の参考とするため、県民の皆さまの意識をお聞きいたします。

問30 あなたは、普段の生活の中でどのような目的で「道路」を利用することが多いですか。一番と思われるものを選んでください。（○は1つ）

※「道路」を利用する手段は、徒歩・自転車・バイク・自動車など全てを含みます。

※「業務（営業・配送など）」は営業や宅配などの近距離の業務を、「業務（長距離の運送など）」は大都市間の荷物の運送など長距離の業務を指します。

＜図表8-1＞主な道路の利用目的



普段の生活の中でどのような目的で「道路」を利用することが多いか聞いたところ、「通勤・通学」（42.5%）と「家事・買物」（41.7%）が4割を超えて高く、以下、「観光・レジャー」（7.3%）、「業務（営業・配送など）」（5.2%）が続く。（図表8-1）

#### 【地域別】

地域別にみると、「業務（営業・配送など）」は“山武地域”（17.9%）が約2割、“長生地域”（13.3%）が1割を超えている。（図表8-2）

#### 【性・年代別】

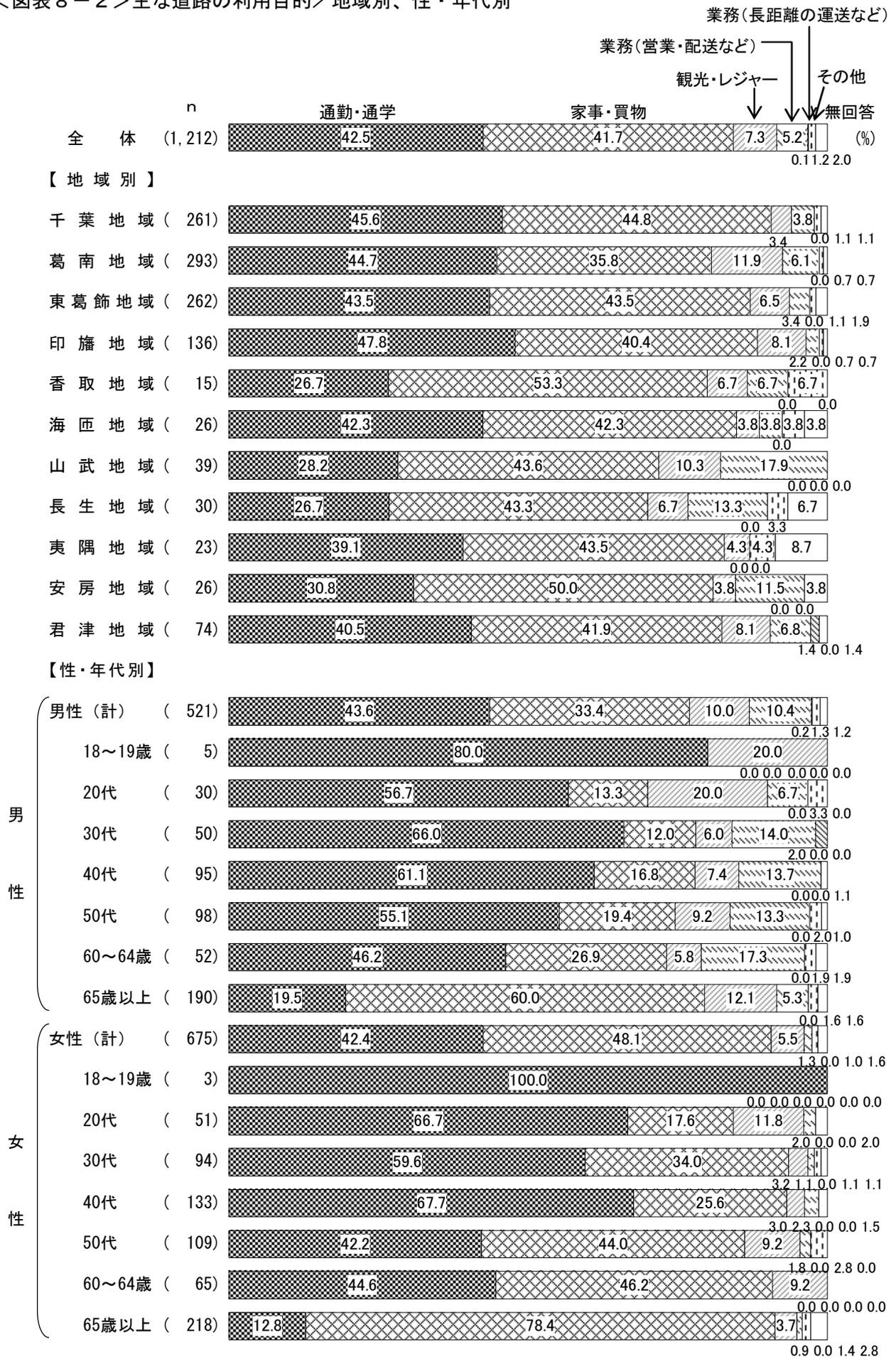
性・年代別にみると、「通勤・通学」は女性の40代（67.7%）が約7割、男性の30代（66.0%）と女性の20代（66.7%）が6割台半ば、男性の40代（61.1%）が6割を超え、女性の30代（59.6%）が約6割で高くなっている。

「家事・買物」は女性の65歳以上（78.4%）が約8割、男性の65歳以上（60.0%）が6割で高くなっている。

「観光・レジャー」は男性の20代（20.0%）が2割で高くなっている。

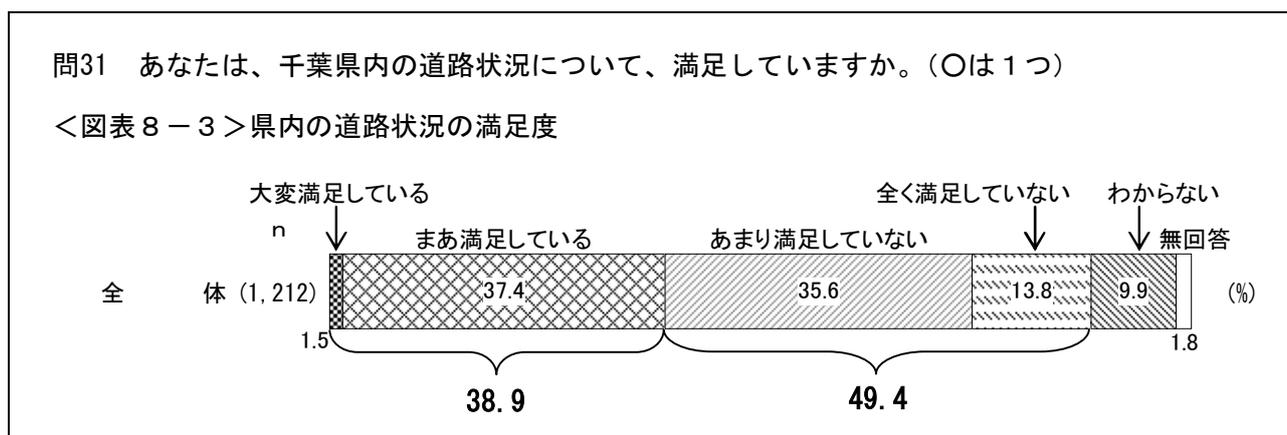
「業務（営業・配送など）」は男性の60～64歳（17.3%）が約2割、男性の30代（14.0%）、40代（13.7%）が1割台半ば、男性の50代（13.3%）が1割を超えている。（図表8-2）

<図表8-2> 主な道路の利用目的／地域別、性・年代別



## （2）県内の道路状況の満足度

◇『満足している（計）』が約4割



千葉県内の道路状況について満足しているか聞いたところ、「大変満足している」（1.5%）と「まあ満足している」（37.4%）を合わせた『満足している（計）』（38.9%）が約4割となっている。

一方、「あまり満足していない」（35.6%）と「全く満足していない」（13.8%）を合わせた『不満である（計）』（49.4%）が約5割となっている。（図表8-3）

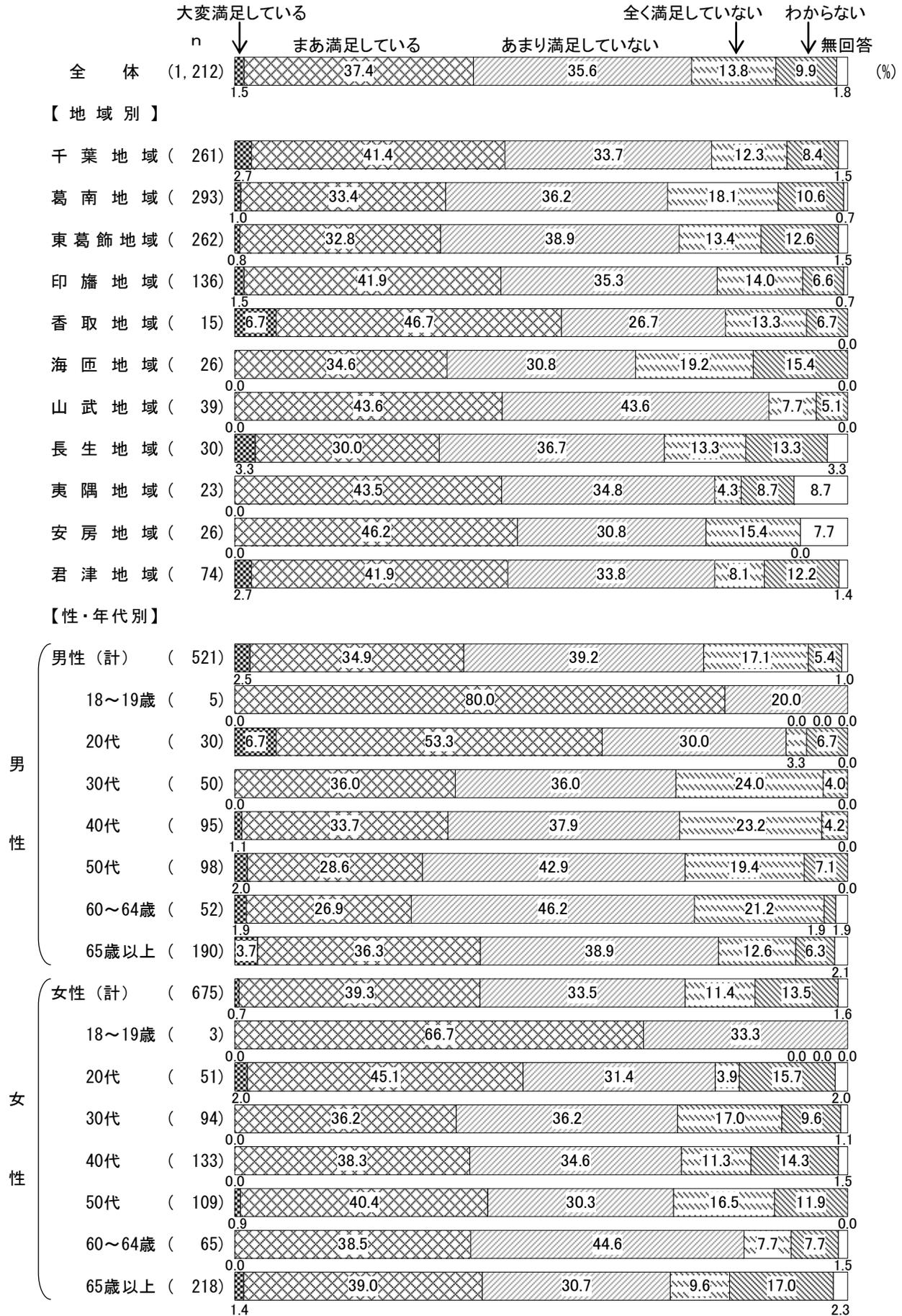
### 【地域別】

地域別にみると、大きな傾向の違いはみられない。（図表8-4）

### 【性・年代別】

性・年代別にみると、『満足している（計）』は男性の20代（60.0%）が6割で高くなっている。一方、『不満である（計）』は男性の60～64歳（67.3%）が約7割、男性の40代（61.1%）、50代（62.2%）が6割を超えて高くなっている。（図表8-4）

<図表8-4> 県内の道路状況の満足度／地域別、性・年代別

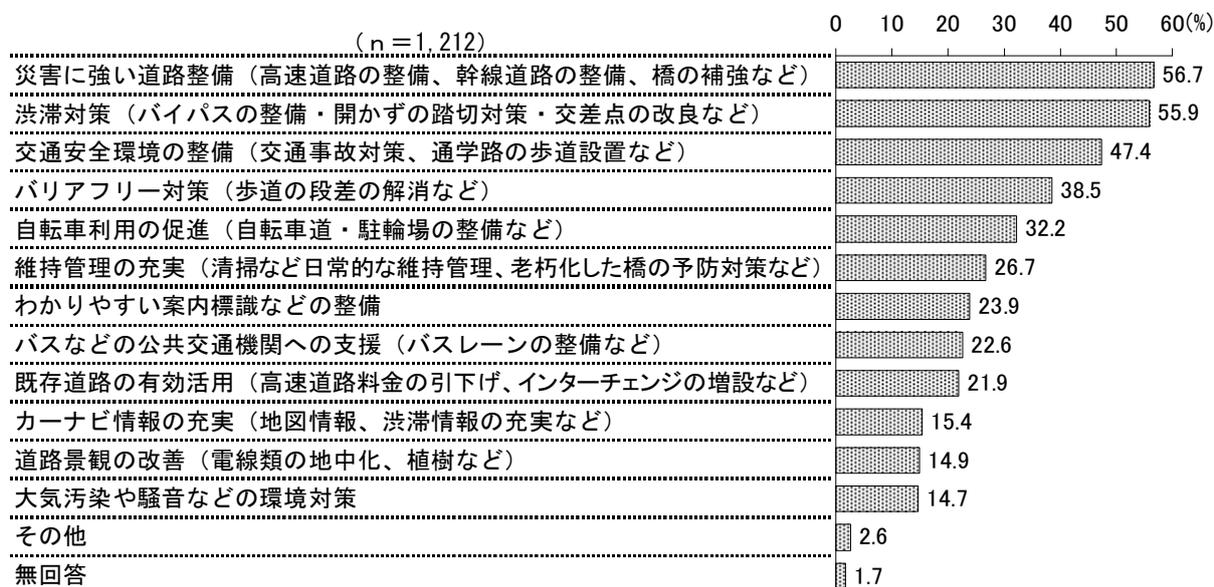


### （3）道路整備をしていく上での優先課題

◇「災害に強い道路整備」と「渋滞対策」が5割台半ば

問32 あなたは、今後、道路整備をしていく上で優先的に対策すべき課題は何だと思えますか。  
（○はいくつでも）

<図表8-5>道路整備をしていく上での優先課題（複数回答）



今後、道路整備をしていく上で優先的に対策すべき課題は何か聞いたところ、「災害に強い道路整備（高速道路の整備、幹線道路の整備、橋の補強など）」（56.7%）と「渋滞対策（バイパスの整備・開かずの踏切対策・交差点の改良など）」（55.9%）が5割台半ばで高く、以下、「交通安全環境の整備（交通事故対策、通学路の歩道設置など）」（47.4%）、「バリアフリー対策（歩道の段差の解消など）」（38.5%）が続く。（図表8-5）

#### 【地域別】

地域別にみると、「災害に強い道路整備」は“千葉地域”（65.5%）が6割台半ばで高くなっている。

「渋滞対策」は“葛南地域”（67.2%）が約7割で高くなっている。

「バリアフリー対策」は“千葉地域”（44.4%）が4割台半ばで高くなっている。

「自転車利用の促進」は“葛南地域”（39.2%）、「東葛飾地域”（38.9%）が約4割で高くなっている。

「維持管理の充実」は“夷隅地域”（52.2%）が5割を超え、“長生地域”（43.3%）が4割を超え、“千葉地域”（33.0%）が3割を超えて高くなっている。（図表8-6）

#### 【性・年代別】

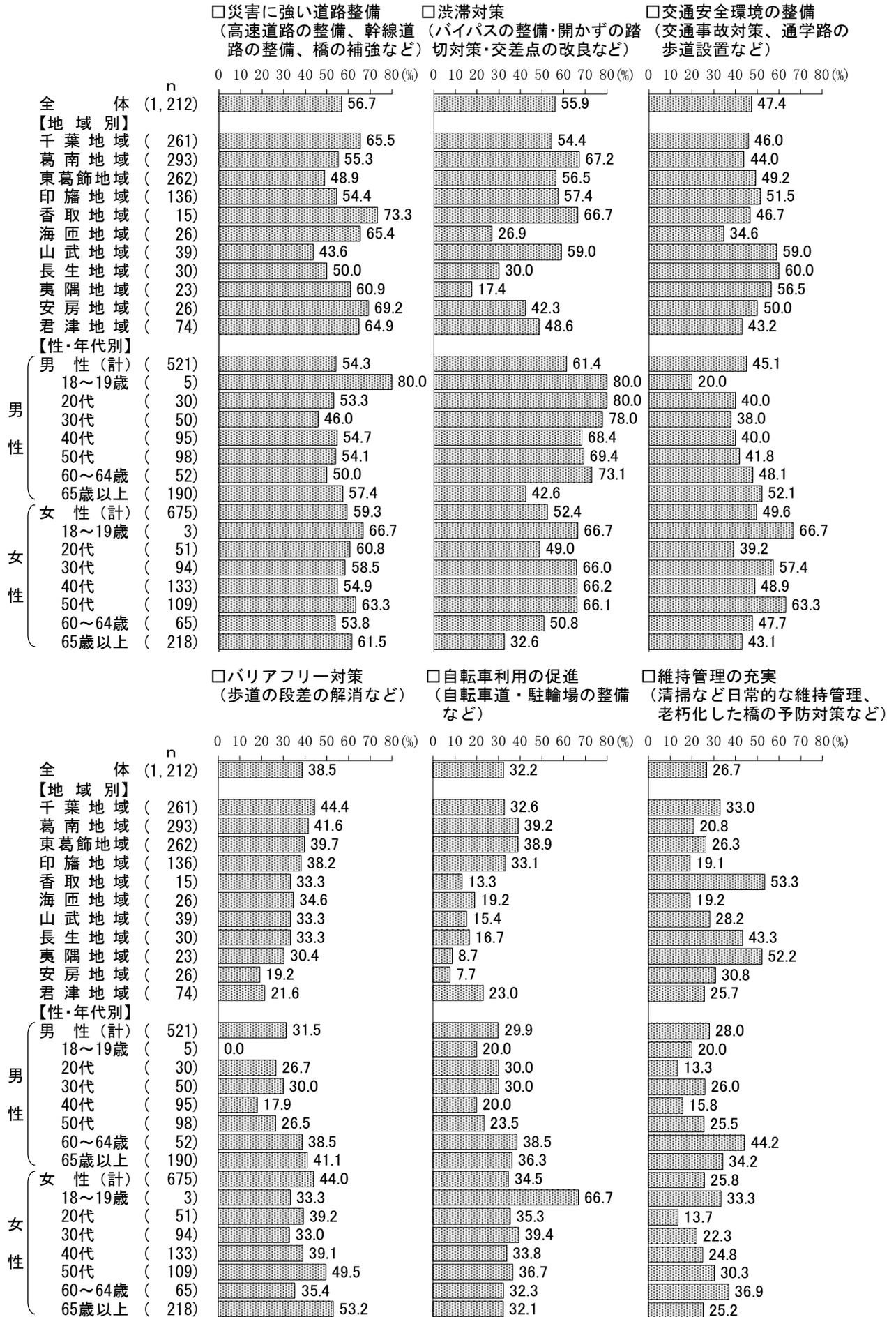
性・年代別にみると、「渋滞対策」は男性の20代（80.0%）が8割、男性の30代（78.0%）が約8割、男性の60～64歳（73.1%）が7割を超え、男性の40代（68.4%）、50代（69.4%）が約7割で高くなっている。

「交通安全環境の整備」は女性の50代（63.3%）が6割を超えて高くなっている。

「バリアフリー対策」は女性の65歳以上（53.2%）が5割を超え、女性の50代（49.5%）が約5割で高くなっている。

「維持管理の充実」は男性の60～64歳（44.2%）が4割台半ば、男性の65歳以上（34.2%）が3割台半ばで高くなっている。（図表8-6）

<図表8-6>道路整備をしていく上での優先課題（複数回答）／地域別、性・年代別（上位6項目）



このほかに、「道路整備」やここまでの質問（問30～問32）について、ご意見やご提案があればご自由にお書きください。

ご意見やご提案を自由に記述していただいたところ、180人から回答が寄せられた。一部抜粋してご意見を記載するものとする。

■「道路整備」の自由回答（抜粋）

- 車の自動化に向けた道路整備を準備していくべきなのかと思います。人口の減少で車社会も変化していくのしょうから。  
(男性、50代、山武地域)
- 面積の広い千葉県ではどれだけ速く移動できるかで県南の活用方法が変わってくると思います。なので、渋滞や高速移動に対しての対策をしていただければと思います。  
(男性、30代、東葛飾地域)
- かなり傷んでいる道がある。自転車と車の距離が近くこわい所もある。(男性、50代、安房地域)
- 外環道松戸・市川間、とても便利になりました。  
(女性、50代、東葛飾地域)
- 右折専用レーンと信号がない交差点が多く、渋滞の原因であり走行しづらいので、右折専用レーンと信号の確保が急務。京成電鉄・新京成線の踏切も交通渋滞の原因であり、早期の高架化または地下化が必要。  
(男性、50代、葛南地域)
- 道路の路面標示が消えている所がたくさんあります。  
(女性、65歳以上、長生地域)
- 歩道と車道の段差を解消するプレートを路肩に置いている家があるが、自転車に乗っているとプレートを避けて車とぶつかりそうになったり、つまずきそうになったり危ないので、場所によっては禁止にしてほしい。  
(女性、40代、印旛地域)
- 外環道の市川・松戸間について、住所や所在地の名を書いた標識が少なく、どこを走っているのかわかりにくい。特に白地に黒で書いた標識は、歩行者にはよく見えても、走っている車からは見落としがちなので、大きな看板、大きな文字で標示してほしい。どこで曲がればよいかわかりにくい。これはほかの人からもよく聞きました。  
(女性、60～64歳、葛南地域)
- 今住んでいる地域は、車を運転している立場から見て自転車利用者が多く上、道幅が狭く路面も凸凹しているので、通行人が道路に飛び出してくる事が多く危険を感じます。道幅が狭く、見通しの悪い道路も多いです。渋滞緩和、歩道の整備、ミラーの設置を希望します。  
(女性、30代、葛南地域)